

精神障害者の
共同作業所や
グループホームづくり、
生活困窮者の救済、
生活保護行政の
改善など

誰もが人間らしく 生きることのできる 社会をめざして 奔走し続ける感動の半生記



著者紹介
細川久美子
Hosokawa Kumiko

1939年、樺太に生まれる。戦後、北海道に引き揚げる。幼少期の貧困、青年期に東京に家出、自殺未遂、そして離婚などを経る。

1977年、北海道生活と健康を守る会連合会(道生連)に入会。社会の矛盾、差別と貧困の元凶、権利としての社会保障を知り、深く学ぶ。

その後、精神障害者のグループホームや共同作業所作り、生活困窮者のための活動に邁進する。道生連では専従役員として生活相談を中心に活動。障害者団体や全国生活と健康を守る会連合会(全生連)の役員なども歴任。

全生連や全国労働組合総連合(全労連)、中央社会保障推進協議会(中央社保協)などの発行誌に社会保障の現状と闘いなどを執筆。現在、北海道社会保障推進協議会発行「笑顔でくらしたい」に「久美子の相談室」を連載執筆中。

もくじ(抜粋)

- 第1章 差別されし者の願いにこたえて**
—生活相談、そして精神障害者の居場所づくりに
共同住居立ち上げを決意／共同住居「若根荘」ができたよ～
共同住居「若根荘」でのみんなの暮らし／第2の共同住居マゼルの誕生
- 第2章 虐げられた精神障害者とともに生きる**
—仲間とともに共同住居と共同作業所づくりに奔走して
精神障害の人たちに触れて／グループホームがらか所に
マザーハウスほぶらの設立／グループハウスひなたの誕生
- 第3章 貧困からの解放・生存権保障の運動へ**
—憲法25条を守り、「健康で文化的な生活」を実現するために
生活と健康を守る会に誘われて／本格的な相談員になるために
3人の子を残して餓死したお母さんの思いに寄り添って
- 第4章 久美子の青春、暗かった…**
—樺太出生、貧困、東京へ家出、自殺未遂、
そして素晴らしい出会いの数々
生まれた町は奪われた／貧困ゆえの進学断念と家出
青春に疲れて自殺未遂／支えあう人生が生きる力に
- 終章 命ある限り、精神に障害を持つ人たちとともに**
—「人間らしく生きたい」の願いを根っこに据えて
支援する会結成から20年を超えて／まだまだ山積する課題が
社会保障制度改悪と私たちの闘い／最後に



四六判並製・240ページ **本体1600円** ISBN978-4-87154-160-2

あけび書房

〒102-0073 東京都千代田区九段北1-9-5
TEL.03-3234-2571 FAX.03-3234-2609
http://www.akebi.co.jp akebi@s.email.ne.jp

キリトリ線

ご記入のうえ、最寄りの書店が取扱先、あるいはあけび書房が著者へご注文下さい。

発行 **あけび書房** TEL03-3234-2571 FAX03-3234-2609

注文書	書店印・取扱先	精神障害者とともに生きる 明日へつなぐ希望を求めて()冊 注文します		
	氏名・団体名	その他・備考		
	送り先 〒()-()	ご担当者 氏名	電話 ()	